



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 エバラ食品工業株式会社

コード番号 2819 URL <http://www.ebarafoods.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 遵

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高井 孝佳 TEL 045-314-0121

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,463	△5.4	1,030	△40.8	1,034	△42.0	536	△45.1
24年3月期第2四半期	25,853	2.8	1,740	20.4	1,783	15.3	976	19.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 511百万円 (△49.6%) 24年3月期第2四半期 1,013百万円 (35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	50.53	—
24年3月期第2四半期	91.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	32,698	19,378	59.3	1,826.68
24年3月期	31,566	19,155	60.7	1,805.46

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 19,378百万円 24年3月期 19,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,678	1.2	1,874	1.9	1,879	2.2	1,053	61.4	99.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	12,398,400株	24年3月期	12,398,400株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,789,649株	24年3月期	1,788,848株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	10,609,085株	24年3月期2Q	10,611,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな景気回復の動きがあるものの、欧州政府債務危機の深刻化や円高の長期化等から、依然として先行き不透明な状況が継続しております。食品業界におきましても、消費者の低価格志向や節約志向が継続する等、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、エバラブランドの目指す姿である「新しいおいしさにより、そこに人が集い、笑顔が生まれる」の実現に向け、“たれ・素・スープ”を中心とした調味料でお客様との幅広い接点を持ち、家族の“絆づくり”やお客様のお役立ちを創造することをミッションとして経営を推進しております。4月にはフェイスブックに公式ファンページを立ち上げ、「食を通じて人と人との絆をつくる」をテーマに、当社のおいしいレシピや食に関する豆知識等、さまざまな話題を紹介し、お客様とのコミュニケーションを促進しております。また、7月からは『黄金の味』のCMタレントに女性からの支持が高い観月ありささんを起用し、等身大の主婦像を描いたCMを通じて、『黄金の味』を使ってちゃちゃっと調理ができる「簡単・便利」の価値とともに、健康的な生活には肉と野菜をバランスよく食べることが大切であることを訴求するプロモーションを展開いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、244億63百万円（前年同期比5.4%減）となりました。その主な要因としては、『具だくさん焼肉のたれ』が前年を下回る売上推移となったこと、及びチルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響が挙げられますが、当第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日～平成24年9月30日）においては、『黄金の味』や『すき焼のたれ』等の主力商品が好調に推移し、売上面での回復傾向も見られました。

利益面については、原材料価格の抑制により売上原価率の低減を図りましたが、当第2四半期連結会計期間における売上面での力強い回復があったものの前年同期の水準にまで至らなかった影響により、営業利益は10億30百万円（前年同期比40.8%減）、経常利益は10億34百万円（前年同期比42.0%減）、四半期純利益は5億36百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

(食品事業)

家庭用商品は前年同期売上高を下回りました。

肉まわり調味料群については、前年の勢いが鈍化した『具だくさん焼肉のたれ』の影響等により前年同期売上高を下回りましたが、『おろしのたれ』が好調に推移したことに加え、「肉1tキャンペーン」や肉の効能を訴求するCM等の肉消費の底上げを図る施策が奏功したことにより肉まわり調味料群全体が活性化され、特に『黄金の味』が8月以降に力強い伸びを示しました。鍋物調味料群についても、10月初旬まで続いた猛暑により鍋物調味料の立ち上がりが遅れた影響等もあり前年同期売上高を下回りましたが、『すき焼のたれ』が好調に推移したほか、8月にリニューアルした『キムチ鍋の素』も堅調に推移し、手頃なサイズが消費者の好感を得た新商品『韓国チゲの素』シリーズも順調な売れ行きを見せました。野菜まわり調味料群も前年同期売上高を下回りましたが、『浅漬けの素』については、震災後に一時的に供給量を増やした反動により前年同期実績には届かなかったものの、前々期以上の水準で堅実に推移しております。その他群については、チルド商品の取扱いを持分法適用会社に移管した影響等により前年同期売上高を下回りました。

業務用商品につきましては、特注品の減少等が影響したその他群をはじめ、肉まわり調味料群及びスープ群も前年同期実績を下回った結果、前年同期売上高を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は217億32百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、広告宣伝事業、物流事業及び人材派遣事業がいずれも前年同期実績を上回った結果、その他事業の売上高は27億30百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

売上高の内訳は以下のとおりとなります。

事業名称及び商品群名	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
食品事業	23,295	21,732	△6.7
家庭用商品	18,694	17,356	△7.2
肉まわり調味料群	10,224	9,687	△5.3
鍋物調味料群	3,675	3,589	△2.3
野菜まわり調味料群	3,623	3,407	△5.9
その他群	1,172	671	△42.7
業務用商品	4,600	4,376	△4.9
肉まわり調味料群	1,456	1,434	△1.5
スープ群	1,733	1,698	△2.0
その他群	1,411	1,243	△11.9
その他事業（広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業）	2,557	2,730	6.8

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し11億32百万円増加して326億98百万円となりました。これは主に、現金及び預金が18億20百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が27億10百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9億8百万円増加して133億20百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億80百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加して193億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億49百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ16億96百万円減少して43億74百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、11億76百万円（前年同四半期は10億40百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益において9億99百万円獲得した一方、売上債権の増加27億9百万円による減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億35百万円（前年同四半期は5億2百万円の使用）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出6億99百万円と、有価証券の償還による収入4億円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2億85百万円（前年同四半期は2億86百万円の使用）となりました。これは、配当金の支払額2億84百万円と自己株式の取得による支出1百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,199千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,763,209	4,942,444
受取手形及び売掛金	9,152,079	11,862,835
有価証券	700,112	949,986
商品及び製品	1,303,569	1,341,546
原材料及び貯蔵品	438,829	435,972
繰延税金資産	427,474	427,368
その他	552,138	587,362
貸倒引当金	△4,375	△4,647
流動資産合計	19,333,038	20,542,869
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他（純額）	5,167,244	5,286,977
有形固定資産合計	8,176,076	8,295,808
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,994,026	1,834,211
長期貸付金	10,791	7,789
繰延税金資産	1,008,265	1,025,327
その他	751,500	710,134
貸倒引当金	△56,526	△56,526
投資その他の資産合計	3,708,057	3,520,937
固定資産合計	12,233,459	12,156,047
資産合計	31,566,497	32,698,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,063,419	6,543,634
短期借入金	166,404	166,404
未払金	1,419,476	1,382,549
未払法人税等	533,319	468,093
賞与引当金	270,941	268,479
販売促進引当金	485,714	551,943
その他	389,033	854,297
流動負債合計	9,328,309	10,235,401
固定負債		
退職給付引当金	2,842,615	2,843,526
資産除去債務	11,563	11,644
その他	228,867	229,590
固定負債合計	3,083,046	3,084,760
負債合計	12,411,356	13,320,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	17,866,080	18,115,738
自己株式	△1,860,411	△1,861,600
株主資本合計	19,048,061	19,296,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,277	92,901
為替換算調整勘定	△17,197	△10,677
その他の包括利益累計額合計	107,079	82,224
純資産合計	19,155,141	19,378,754
負債純資産合計	31,566,497	32,698,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	25,853,006	24,463,663
売上原価	13,085,431	12,331,944
売上総利益	12,767,574	12,131,718
販売費及び一般管理費	11,027,451	11,101,492
営業利益	1,740,122	1,030,226
営業外収益		
受取利息	13,259	6,297
受取配当金	16,135	16,839
受取賃貸料	18,706	9,914
保険解約返戻金	5,544	22,893
その他	14,848	12,637
営業外収益合計	68,494	68,581
営業外費用		
支払利息	1,826	1,828
持分法による投資損失	22,395	61,740
その他	1,259	313
営業外費用合計	25,481	63,881
経常利益	1,783,135	1,034,925
特別利益		
固定資産売却益	722	—
災害損失引当金戻入額	11,838	—
特別利益合計	12,561	—
特別損失		
固定資産除却損	9,947	30,184
投資有価証券評価損	10,341	3,447
その他	—	2,129
特別損失合計	20,289	35,761
税金等調整前四半期純利益	1,775,407	999,164
法人税等	799,406	463,048
少数株主損益調整前四半期純利益	976,000	536,115
四半期純利益	976,000	536,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	976,000	536,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,148	△31,376
為替換算調整勘定	△449	6,520
その他の包括利益合計	37,699	△24,855
四半期包括利益	1,013,699	511,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,013,699	511,259
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,775,407	999,164
減価償却費	581,298	543,149
固定資産除却損	9,947	30,184
固定資産売却損益(△は益)	△722	—
投資有価証券評価損益(△は益)	10,341	3,447
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△67	271
退職給付引当金の増減額(△は減少)	73,380	910
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,017	△2,461
販売促進引当金の増減額(△は減少)	31,703	66,228
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△53,369	—
受取利息及び受取配当金	△29,395	△23,136
支払利息	1,826	1,828
持分法による投資損益(△は益)	22,395	61,740
売上債権の増減額(△は増加)	△1,313,742	△2,709,069
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119,769	△34,552
仕入債務の増減額(△は減少)	540,823	479,852
未払消費税等の増減額(△は減少)	△54,258	△1,096
長期未払金の増減額(△は減少)	△6,720	—
未払金の増減額(△は減少)	78,669	△73,721
その他	△4,059	△12,391
小計	1,575,706	△669,653
利息及び配当金の受取額	27,309	22,835
利息の支払額	△1,826	△1,828
法人税等の支払額	△560,567	△527,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040,621	△1,176,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	4,096	5,512
貸付けによる支出	△5,500	△500
定期預金の払戻による収入	30,100	536,000
定期預金の預入による支出	△542,000	△312,032
投資有価証券の償還による収入	300,000	—
投資有価証券の取得による支出	△4,157	△4,321
有価証券の償還による収入	890,143	400,000
有価証券の取得による支出	△499,770	△699,800
有形固定資産の売却による収入	938	—
有形固定資産の取得による支出	△404,150	△145,718
無形固定資産の取得による支出	△18,671	△54,962
関係会社株式の取得による支出	△250,000	—
ゴルフ会員権の取得による支出	△3,500	—
その他	149	40,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502,321	△235,618

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△284,820	△284,352
自己株式の取得による支出	△1,662	△1,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,482	△285,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	977
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	251,818	△1,696,724
現金及び現金同等物の期首残高	5,935,101	6,071,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,186,920	4,374,650

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	23,295,539	2,557,466	25,853,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	23,295,539	2,557,466	25,853,006
セグメント利益	1,830,704	91,594	1,922,298

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,830,704
「その他」の区分の利益	91,594
全社費用（注）	△182,175
四半期連結損益計算書の営業利益	1,740,122

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	21,732,974	2,730,689	24,463,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	21,732,974	2,730,689	24,463,663
セグメント利益	1,191,869	59,253	1,251,123

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,191,869
「その他」の区分の利益	59,253
全社費用（注）	△220,896
四半期連結損益計算書の営業利益	1,030,226

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は平成24年10月31日開催の取締役会において、香港に新たな子会社を設立することを決議いたしました。

① 設立の目的

当社グループは、従来から連結子会社荳原食品（上海）有限公司において中国市場を中心に東アジア市場の拡大を図ってまいりました。この度、香港を含む中国における事業の成長を加速させるとともに、成長が著しい東南アジア市場に向けたブランドの発信拠点及び参入機会を探るための海外拠点として、香港に子会社を設立いたします。

② 子会社の概要

商号	Ebara Foods Hong Kong Limited（予定） （中国名：荳原食品香港有限公司（予定））
所在地	中華人民共和国香港特別行政区
代表者	関 進
資本金	500万香港ドル（日本円：約50百万円）
設立年月日	平成24年11月（予定）
出資比率	エバラ食品工業株式会社 100%
事業内容	調味料の販売および貿易事業、東南アジアの食品市場調査と事業支援

③ 今後の業績に与える影響

当期連結業績に与える影響は軽微となる見込みであります。